

葛飾医療センターニュース

Katsushika Medical Center News

編集発行責任者 伊藤 洋

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2

TEL:03-3603-2111 (代表)

URL:<http://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/>E-mail:aotokouhou@jikei.ac.jp

INDEX

01. 地域医療連携の紹介
02. 就任のご挨拶
03. 就任のご挨拶
04. 公開セミナーを開催しました、平成26年度 初期臨床研修医のご紹介、編集後記

地域医療連携の紹介

現在、日本の医療は、「医療機関の機能分化と連携の促進」が進められています。地域の『中核病院』と『かかりつけ医』が役割を分担し、互いの長所を活かし連携することで、患者さんに適切な医療を提供します。

① かかりつけ医を持ちましょう!

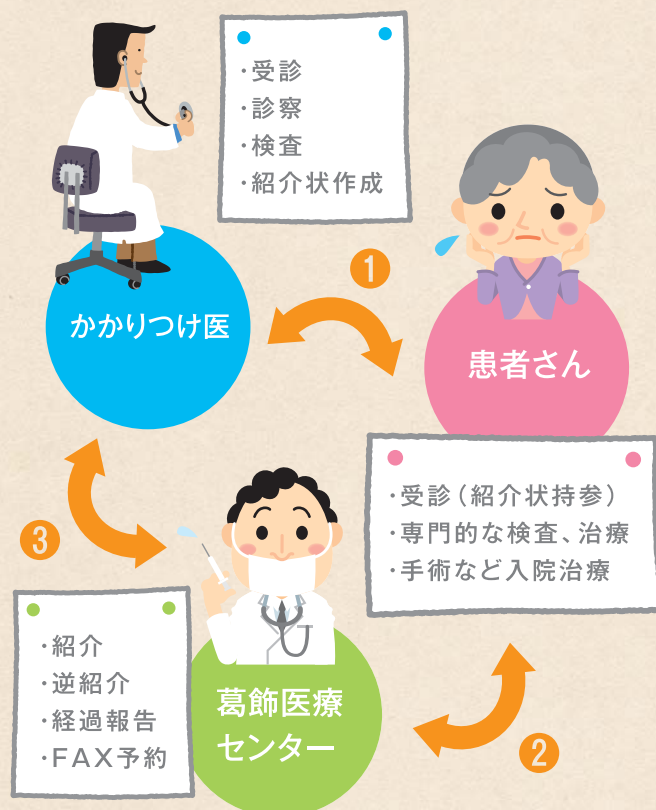
かかりつけ医は、患者さんの健康状態を一番に把握して下さる存在です。待ち時間も比較的短く、診察をして下さいます。病気の治療は、まず近隣の医院・診療所を受診しましょう。

② 紹介状を持って葛飾医療センターへご来院ください!

かかりつけ医から専門的な検査・治療を進められ、葛飾医療センターへご受診頂く際、かかりつけ医の紹介状をご持参ください。診察前に紹介状を拝見し治療経過を把握することで、効率的に治療に臨みます。

③ 地域で連携して適切な医療を提供します!

葛飾医療センターは急性期の病院です。急性期の治療が終了しましたら、かかりつけ医へご紹介し、その後の治療をお願いしています。病院が変わることで不安な思いをされることもありますが、皆さんがよりよい医療を平等に受けるために、地域の医療機関で連携をとり患者さんを診て参ります。



就任のご挨拶



●救急部
黒田 徹 診療部長

2 014年4月から救急部長に新任しました黒田 徹です。現在救急部は行木太郎医師との2人体制で診療しています。

救急診療は病院の顔であり、病院の社会に対する窓口として重要な機能です。地域の医療・社会に貢献できるように診療体制システムを構築していく所存です。宜しくご協力ご支援をお願いします。

本 年4月に輸血部・手術部診療部長に就任致しました。平成23年より当院外科で診療しております30年目の消化器外科医です。当院は平成24年1月に新病院となり、手術部門は、最新設備の手術室8室、血管治療室1室で、年間4500例の手術を行っております。手術部では、最新技術による手術も含めて全ての手術が安全に施行できるように、各診療部門と連携して運営しております。輸血療法に関しても、治療が安全かつ有効にさらに無駄が少なく遂行できるように指導・管理しております。

患者の皆様が、安心して精度の高い医療を受けれるように努力致します。ご指導・ご厚情賜りますことをお願いいたします。



●手術・輸血部
河野 修三 診療部長

平 成26年4月より診療部長代行を拝命いたしました。

今年度の脳神経外科は、私ばかりではなく3名の新しい診療スタッフが着任し、それぞれの得意分野を活かした診療体制を構築中であります。前任の赤崎前診療部長は、葛飾医療センターの使命である救急医療と、彼の専門分野である脳腫瘍の治療という基盤を作りました。今後も同じクオリティーで脳腫瘍の患者さんの治療を継続できるよう、外来診療を継続しています。私たちはその基盤の上に、脳血管外科、脳血管内治療、脊椎脊髄外科を加え、より多くの患者さんに質の高い医療を提供すべく、新たな体制を整えております。

周辺医療機関の先生方のさらなるお引き立てを賜りたく、より連携を深めるよう努力する所存です。



●脳神経外科
長島 弘泰 診療部長



●内視鏡部
加藤 正之 診療部長

平 成26年4月より松田浩二内視鏡部診療部長の後任として診療部長代行を拝命致しました。葛飾医療センターに勤務するのは旧青戸病院も含め初めてでしたが、スタッフの協力のおかげで順調なスタートをきることができました。

平成24年1月の葛飾医療センター病院の開設に伴い、内視鏡部も最先端の機器を導入する事ができました。通常のルーチン検査はもとより、早期消化管病変の内視鏡的切除術(ESD)、痔瘻や消化管粘膜下病変の組織診断に対する超音波内視鏡下穿刺吸引法(EUS-FNA)、胆膵内視鏡治療(ERCP関連手技)といった特殊な診断そして高度な治療を中心に日々、地域の基幹病院として頑張っております。そして、これからも葛飾近隣の診療機関との医療連携を重視し、地域に貢献してゆきたいと思っております。

昨今では内視鏡を行っている先生も多くなってきていると思います。内視鏡診断・治療であれば、葛飾医療センターに紹介して間違いはないと言って頂けるように今後も精進してゆく所存です。これまで以上のお引き立てを賜りたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

平 成26年4月1日付で事務部長に就任いたしました伊藤敬夫です。地域の皆さまの生命と健康を守る地域の中核病院の事務部長として、その果たすべき役割の重さを改めて実感し身が引き締まる思いであります。

近年、疾病構造の変化や高齢化の急激な進展、医療の高度化・専門化、健康への関心の高まりなど、医療を取り巻く環境は大きく変化しています。そのなかで当センターは「地域と共生し、進化・創造し続ける病院」をテーマに掲げ、地域医療への貢献を第一に取り組んでまいりました。そしてこのたび、地域の皆さまのニーズにお応えすべく、放射線治療を再開することを前提に別館建築が開始されこととなりました。これにより、がんに対する集学的治療を地域のなかで完結することが可能になります。

今後見込まれる超高齢化社会を見据え、より効率的で質の高い医療体制を構築していくとともに、地域の皆さまからさらに信頼される医療機関となるよう、微力ではございますが鋭意努力してまいりますので、なにとぞご理解とご協力を賜りますよう心よりお願い申し上げます。



●事務部
伊藤 敬夫 部長

公開セミナーを開催しました。

平成26年9月13日(土)に当医療センター5階講堂にて、第38回葛飾医療センター公開セミナー『乳がんについて知ろう、語ろう』が開催されました。

第1部、外科の川瀬和美医師から「乳がんの基礎知識」、次いで第2部では乳がん体験者から「乳がんに向き合う私の人生」の演題でお話しを頂きました。本セミナー初の試みとしてがん経験者のお話を皆様にお伝えできたことは大変有意義な時間になったと考えております。

次回のセミナーは平成27年2月14日(土)を予定しております。詳細決定致しましたら本紙面にてご案内致します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

次回もご参加
よろしく
お願いします。



平成26年度 初期臨床研修医の ご紹介

4月より平成26年度初期臨床研修医4名が新たに葛飾医療センターに入りました。

2年間の研修期間にて、多くのことを吸収し、未来の慈恵大学を担う医師を目指して頑張ります。



宮國 憲昭

楽しく勉強する研修生活を
送りたいと思います。

岸本 勇将

素敵な先生に恵まれて
楽しい研修生活を送れています。

雨宮 えりか

患者さん一人ひとりと向き合い、
たくさんのお話を吸収したいです。
2年間頑張ります。

増谷 祐人

葛飾医療センターの研修でたくさんのお話を学べるよう、
2年間一生懸命頑張ります。宜しくお願いします。

編集後記

紙面でご紹介致しました「地域医療連携」は、お互いの顔が見えてこそ安心して信頼のおける連携がとれると考えております。本紙がその「顔の見える医療連携」の一助となるよう、今後も定期的に情報を提供して参ります。